



グレースデンタルメディカルクリニック

訪問新聞 10月号

<発行元>

医療法人社団 慶実会

グレースデンタルクリニック杉並

〒167-0042

東京都杉並区西荻北 2-37-12

TEL:03-6913-8244

FAX:03-6913-8245

歯を抜けたままにすることの問題点 *放置すると*

高齢者では歯が抜けてしまっても、「痛みがない」「不都合に感じない」「治療にお金をかけたくない」などの理由で放置してしまう人は少なくありません。

けれども、歯をぬけたままにすることには、さまざまな問題点があります。

●噛み合わせの変化

歯列にかかる力のバランスが崩れ、隣の歯が移動して抜けた歯の方向に傾いたり、ねじれたりして噛み合わせに変化が起こります。歯が移動して噛み合わせが狂うと顎、歯の周りの組織にダメージを与えて歯周病になることも。また、顎の正常な動きに支障をきたして、顎関節症を引き起こす恐れがあります。

●咀嚼の問題

歯を抜けたままだと、咀嚼の能率が悪くなるため消化吸収にも影響を与えます。



●発音の影響

特に上顎の前歯がないと、空気が抜けてサ行、タ行、ハ行、マ行の発音がしにくくなります。

●見た目の変化

前歯、奥歯が抜けたまま長く放置すると顔貌にも変化が現れます。



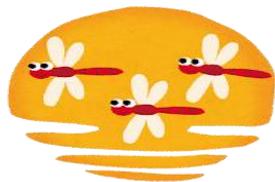
●精神的な影響

歯がないことに劣等生をもち、精神的に影響が出ることもあります。

●治療方法

ブリッジをかける ; 隣接している歯を支台にして抜けた部分に人工歯を補います。

部分入れ歯 ; 取り外しのできる部分的な入れ歯です



<クリニックからのお知らせ>

お口の中の状況は一人一人違います。治療が必要かどうか、入れ歯を作ったほうが良いかなどお悩みの時はご相談下さい。